



保護者による評価

事業所による自己評価

A環境面
送迎時に車両に乗っている時間が長く感じる。
送迎ミスが気になる時がある。

B児童への支援内容
療育指導のメニューを増やしてほしい。(音楽療育など)

C関係機関との連携
相談会を年に5回ほど開催している。

D保護者への説明責任・信頼関係
コロナ禍なので保護者会は開かなくて大丈夫です。

E非常対応
避難訓練を実施した記憶がないのでわかりません。

A環境面
送迎時車両に乗っている時間が長いように感じる。

B業務改善
全職員が業務改善は特にならな感じています。

C適切な支援
療育指導やメニュー等について研修を増やしてほしい。

D関係機関との連携
ケース会議を用いて相談会などを開催している。

E保護者への説明責任・信頼関係
コロナ禍なので保護者会は開かない方がいい。

F非常時等の対応
定期的に避難訓練を行い、利用者と防災センターなどを訪問し非常災害発生時の対策に取り組んでいる。

事業所内での分析

【共通点】保護者会等はコロナ禍中はやらないでほしい。送迎のミス、長いことなどが気になっている。

【相違点】避難訓練を実施しているが保護者に周知がなされていない。

【分析】
色々な療育を入れており、今年度はプログラミングでとてもいい療育がなされていた。他の療育に関しても、いろいろな検定という実際的な目標を見つつ行うことが出来ていた。SSTに関してはコグトレを用いて認知作業トレーニングをしっかりと行うことが出来ている。ただ送迎がしっかり確認されていない時があり、学校や保護者、生徒に迷惑をかけている時があるのではないかと。避難訓練の実施曜日を多数に増やしていき、児童や保護者が周知できるようにする。

事業所の改善への取り組み

- ・送迎表の確認を送迎チームにてしっかりと確認し、送迎のミスをなくすようにします。
- ・支援内容については児童の意欲をつけ、様々な個々に合った目標を達成できるように努めていきます。
- ・療育メニューを増やし、充実に努めます。
- ・指導員研修を増やし、一人一人がよりよい指導が出来るように努めていきます。